

会派代表質問と平成30年度予算

鎌倉市議会2、3月定例会は、毎年会派代表質問と、翌年度の鎌倉市予算の検討が行われます。

私が代表を務める会派「鎌倉みらい」では、鎌倉市の現在の課題をどう解決するか、未来のために、子ども達のために何をなすべきかをテーマに、46項目65件の質問をしました。

主な質問は

- ◎現在の暮らしを安全に豊かにするための質問
- ◎障がい者支援など福祉に関する質問
- ◎保育園や小学校など子ども達に関する質問
- ◎鎌倉市の産業振興のために漁港対策の質問

などですが、左ページから順次ご紹介します。

来年度の鎌倉市の予算は、行政運営の基礎となる一般会計は、前年度の0.3%減となる約597億円。下水道、健康保険事業などの特別会計は、12.5%減となる約477億円。総予算では6%減となる約1,074億円となりました。

新規事業には子育て支援事業が多く盛り込まれ、第2子の保育料無償化、病児・病後児保育の拡充。待機児童対策として、浄明寺県営住宅跡地の取得などに着手する予定です。

市が提案した微生物の作用で生ゴミを減容化する施設建設に関する費用は、まだ議論が熟していないなどの理由で削除した修正案が可決されました。

またオリンピック、パラリンピック開催に向けて、鎌倉駅東口広場の舗装の修復や歩道の拡幅などが実施され、西口駅前時計台広場の整備に向けた実施設計も行うことになりました。

ブログ「いやさか通信」から

鎌倉漁協 100回記念朝市



大きなサワラに鎌倉エビ、薄紅色のイカ、カマス、サバ、サザエ、シラス、イワシ…。朝市100回を記念してワカメの味噌汁が振舞われました。早く漁港をど願いつつ(4/1)。

中学校給食施設を見学



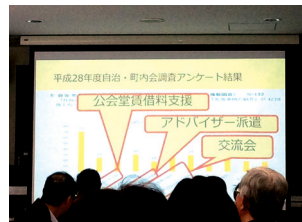
昨年11月に開始した市内公立中学校の給食。毎日約2,800食で新学期からは3,000食になる勢い。この5ヵ月間、同じメニューを出さない努力を続けられたそうです(3/27)。

木遣りの稽古「山椒の木」



だいぶ前から木遣りの稽古を続けています。今回は5日連続で「山椒の木」という曲を練習。7分間の比較的短い曲ですが、覚えづらいところもあり、緊張の連続でした(3/12)。

自治・町内会の課題解決



市の主催で課題解決のための交流会が開かれ、浄明寺町内会副会長として参加。グループに分かれ、問題点、解決策を討議。連携、助け合い精神が重要です(3/24)。

浄明寺町内会の「寒餅つき」



大人も子ども一緒に北風の中でお餅つき。お汁粉、お雑煮にいただき、大好評。蒸したお米を練るのは青年部のパパ達、手返しや味付けは婦人部、女子会の仕事でした(2/4)。

特別な皆既月食をカメラに



左の写真は今回のスーパー・ブルー・ブラッド・ムーン。大きく血のように赤い皆既月食。1昨年にも撮ったスーパームーンと並べてみました。鎌倉ならではの美しい月でした(1/31)。

前川あやこのホームページからブログ「いやさか通信」をご覧ください。
<http://www.maekawa-ayako.net>

共育のまち、鎌倉をつくろう



この季節恒例の「鎌倉市演武会」が今年も鎌倉武道館で開催。主催は鎌倉市、主管は鎌倉市体育協会です。披露された武道は、弓道、少林寺拳法、居合道、合気道、剣道、なぎなた、柔道、跆拳道、太極拳の9つ。静かな時が流れる中、張りつめた弓弦の震える音あり、あるいは裂帛の気合あり。いかにも古都鎌倉にふさわしい品位ある伝統を誇らしく感じるひと時でした(2018,3,11)。



前川あやこ

無所属 鎌倉市議会議員

2005年初当選 4期目 鎌倉みらい代表

議会運営委員会委員長

教育・子どもみらい常任委員

政策法務研究会メンバー

レポート

No.56

2018,04発行

2018年2・3月議会からのご報告

- 1 会派代表質問と平成30年度予算
- 2 今の暮らしを安全に豊かにしたい
- 3 障がい者支援など福祉の充実を
- 4 保育園や小学校など、子ども環境の充実
- 5 鎌倉市産業振興の一環、漁港建設

討議資料

今の暮らしを安全に豊かにしたい

◆ゴミ収集困難地域は軽車両での収集を

2トンパッカー車では収集が困難な地域については、軽車両による収集を進めているが、外部委託も含めて見直し、ニーズに応える体制となった。

◆危険斜面及び危険木の調整会議の結果

昨年4月に設置された同会議での協議の結果、ホームページ、広報を通じて、土地所有者への予防対策の重要性啓発とともに、庁内が連携して問題に取り組む。

◆鎌倉駅東口駅前の歩行者と車の交通混雑

横断歩道での交通誘導は、GW等の混雑時に行っているが、歩行者の安全とバス、タクシーの円滑な運行を確保すべく、引き続き交通事業者と検討していく。

◆市民生活の安全確保のための橋梁修繕

平成24年度以降、28年度までに7橋、28年度に1橋が完了。29年度には滑川4号橋が完了の予定。

◆その他関連する質問

- 公的不動産利活用推進のため、基礎調査業務委託をして早期の実施を図る。
- 歴史的風致維持向上計画事業は、鎌倉文化交流センターや、史跡永福寺跡など、概ね順調な推移。
- 緑地維持管理は梅雨前から調査を行い計画策定へ。
- 全国的に女性消防団員の活躍があり、本市も活躍できるよう施設を整え環境を整備する。



仏ヨット、鎌倉へ

鎌倉市は東京五輪に向け、フランスセーリング連盟と事前キャンプに関する相互協力協定を結びました。仏・ニース市との姉妹都市提携が50周年を迎えており、市民との交流イベントを含めて提携します。

障がい者支援など福祉の充実を

◆発達に課題のある子どもの生活支援

支援を必要とする児童には、専門職だけでなく、園や学校・地域での支援が必要。そのための人材としてサポーター養成講座を行い、受講者の活用を図っている。また発達支援室では発達に課題のある子どもの早期発見、早期支援に取り組み、専門職による相談や指導にあたっている。

◆ワークステーションによる障がい者就労支援

同施設は4月開設に向けて準備室を置き、障がい者スタッフの選考を進めている。また障がい者雇用2,000人に向けて検討中であり、商店街、農業、漁業などに雇用奨励金の周知や、ジョブサポーターの効果的な活用方法を検討していく。

◆共生社会を実現するために、市の独自性は

様々な人の様々な生き方を尊重し合い、差別の解消に向けて、(仮称)かまくら共生条例を制定。国が示す地域共生社会の方向性を踏まえつつ、より多くの人を対象とするよう取り組んでいる。

子どもの健康とICT(スマホやタブレット)

第50回鎌倉市学校保健大会が開かれ(1/25)、「子どもの健康とICT(スマホ・タブレット端末など)の現状と課題」が講演されました。使い方によっては事件に巻き込まれたり、心身を傷つけられるケースもあり、さらには長時間利用で健康障害を引き起こすこともあります。使用に当たっては保護者との間で約束事をつくるなど、取り組みが求められます。

インターネット依存症予防教室

WHOはネット・ゲーム依存は病気認定する方針。国の補助事業である「インターネット依存症予防教室」に市の教育委員会が手を挙げ、1月17日、第二中学校の全校生徒を対象に行われました。まず依存症とはどういうものであるか、ゲームやスマホで夜更かしをするうちに睡眠不足、昼夜逆転、ひきこもりなどになる危険があることなどを説明。こうした教室を通じて、上手な付き合い方を覚えてくれますように。

保育園や小学校など、子ども環境の充実

◆私立幼稚園の預かり保育の補助金ほか

待機児童問題解消の一つとして、私立幼稚園での預かり保育(延長保育)は、現在19園で実施中。補助金対象となるのは20園だが、補助金が効果的に活用されるよう、鎌倉市立幼稚園協会などと意見の交換を行っていく。また浄明寺地区の新たな保育園建設用地として、浄明寺県営住宅跡地を平成30年度に取得する予定。

◆小・中学校施設整備の進捗状況

現時点でトイレ改修を必要とする学校は12校。この改修は事業計画を前倒しし、平成30年度から32年度末までに全て改修するべく準備中である。

第二中、大船中を除く小中学校23校で、今後の使用可能期間、建替えか長寿命化対策をとるかなど、30年度中に調査を実施する。また必要な修繕や工事は随時実施していく。

◆スクールバディ全校実施を望む

いじめの問題を子ども達自身の取り組みでなくしていく「スクールバディ」。一昨年手広中で始まり、昨年は御成中、第二中で実施された。実施校では生徒自身がポスター制作や取り組みを発表。一定の成果が得られているので、30年度は全校実施を準備中。

鎌倉市産業振興の一環、漁港建設

◆産業振興、防災に関わる鎌倉漁港

鎌倉地域においては、漁港を持たないにも関わらず、若手後継者にも恵まれ、市民に新鮮な魚介類を届けている。漁業活動支援施設の整備は、地域振興、防災などにも効果が高い。県と協調して取り組みの方向性が定まったことから、実現に向けて取り組んでいく。